

学校名	山形小学校		
ホームページURL	児童・生徒数 95名		
(1) テーマ 「山形の恵み・歴史・くらし」 「私のおすすめ郷土料理」 テーマの分類() 下記の欄外記載事項を参照してください。	(2) 活動の単位に をつけてください 学級・ <u>同一学年</u> ・3～4年 5～6年・学校・ その他() 該当学年 6年 (回答可能な場合)		
(3) 活動のねらい 学習で期待できるつける力 課題を見つけ自己決定できる。多くの人と関わりながら学ぶことができる。 自ら進んで行動したり、活動したりすることができる。 情報を集めることができる。友達の追究の良さにふれることができる。 自分を見つめ、自分を表現することができる。最後までやりとげることができる。			
(4) 活動の実際(活動内容、学習方法、学習形態、学習環境等) 国際交流に向け、地域の郷土料理を紹介する活動。一人一人地域から料理のお師匠さんを見つけ、その先生から一対一で料理を教えていただく。教えていただいた料理が一人でできるか試しに自分で作り、それを料理の先生に持っていったお墨付きをいただく。友達や国際交流にきたA大学の留学生に紹介しながら会食をする活動。個人追究による学習。 時数(15)			
(5) 指導体制(校内体制、地域人材の活用、安全面での配慮等) ・地域の方に協力していただき一対一で料理を教えていただいた。また、料理を教えていただく場所はほとんど料理の先生のご自宅で地域の方の協力があってこそその学習だと思う。 ・3日間のうちで相手の先生の都合の良い日に料理を教えていただいた。そこで担任が料理の先生の地域を把握し、途中まで引率を行い交通安全に配慮した。			
(6) 指導上の留意点(時間数の取り扱い、各教科との連携、家庭・地域との連携等) ・家庭科の「心のつながりを深めよう」の授業を合科的に扱った。 ・「若い人と話すこともなかったが、こんな機会があつてうれしかった。」とか「自分の子どもとさえこんな時間を過ごすことはなかった。」と料理の先生からはうれしい言葉をいただいた。			
(7) 評価(基本的な考え方、評価の内容及び方法、評価の実際) 本校としてはまだ評価について具体的な方向が出ていないが、自己建設 自己肯定観 共感 世界観の4点で子どもの育ちを追っている。また、子ども自身に学習の感想や反省などを書かせ自己評価についてのあり方を今後考えていきたい。			
(8) 成果と課題 今回、直接地域の人とふれあわせたいという願いからある程度教師が道筋をひき、子どもがその中でどのようにアプローチできるかを見守っていった。郷土料理の先生から料理だけでなく、料理を通じてその人の人柄にふれ学ぶことも多かった。 お家の方の考え方として子どもに失敗させたくないという気持ちや成功させたいという思いが強いことがわかった。そのため、子どものかわりに親がやってしまったたり、過度な準備をしてしまったたりなどのことがあったので、事前の説明の大切さを痛感した。 地域の方が協力してくれてありがたかった。			

テーマの分類 横断的・総合的な課題(-ア 国際理解 -イ 情報 -ウ 環境 -エ 福祉・健康 -オ その他) 児童生徒の興味・関心に基づく課題 地域や学校の特色に応じた課題